

宮城野会 会員数 197名 (12/1現在)

放送大学と宮城野会の一人ひとりをつなぎます

放送大学 同窓会

# 宮城野会会報

## 43号

発行日：2021(令和3)年12月

発行：放送大学同窓会

宮城野会

放送大学宮城学習センター内

〒980-8577

仙台市青葉区片平2-1-1

TEL：022-224-0651

Fax：022-224-0585

E-mail: miyagi-sc@ouj.ac.jp



**第8回 東北・北海道ブロック同窓会交流会**  
同時開催 宮城野会創立20周年記念行事  
2022年3月5日(土)～6日(日)

**会場・日程** ホテルベルエア仙台 3月5日(土)  
仙台市青葉区一番町1丁目4-8

- ◆ 開会行事・記念講演・修士論文発表 13:00～16:00(受付12:30～)
  - ◎ 記念講演『放送大学と同窓会』 教養 雄一 氏 放送大学名誉教授、東北大学名誉教授
  - ◎ 放送大学副学長 陽悠
  - ◎ 修士論文発表『ヴェルディのオペラに対するアクトサイダーの考察』 放送大学大学院人文学プログラム専攻 陽 雄一 氏
- ◆ 懇親会 18:00～20:00(受付17:30～)  
参加費：5,000円 事前の申し込みが必須です。

**会場・日程** 放送大学宮城学習センター 3月5日(土)～6日(日)

- ◆ 展示会場(併設室3) 宮城野会のあゆみ、個人の作品や購入品、サークル・ゼミの活動を紹介し、どなたでも自由にご覧いただけます。  
見学時間：3月5日(土)11:30～17:50、3月6日(日)10:00～12:00
- ◆ 東北・北海道ブロック同窓会交流会(併設室1) 3月6日(日)9:40～12:00

【問い合わせ・懇親会申し込み先】 放送大学同窓会「宮城野会」  
放送大学宮城学習センター内 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1  
TEL:022-224-0651 Fax:022-224-0585 E-mail:miyagi-sc@ouj.ac.jp  
宮城野会事務局 E-mail:miyagi-sc@ouj.ac.jp



### CONTENTS

- 2～3 宮城野会 とぴくくす
- 4～6 招待席 遠藤 宜成 客員教授  
『音楽から外国語へ』

- 7～9 交流ひろば
- 10 宮城学習センターから お知らせ
- 11 同窓会宮城野会から お知らせ
- 12 『記念誌』 原稿募集

宮城野会の  
活動を紹介  
するページ  
です

# 宮城野会

## 東北・北海道ブロック同窓会交流会 同時開催 宮城野会創立 20 周年記念行事が いよいよ 2 か月余りに



▲役員会では佐々木会長を中心に、行事の細部を検討。

10月に会員のみなさんにご案内いたしました『第8回東北・北海道ブロック同窓会交流会 同時開催 宮城野会創立 20周年記念行事』の開催日が迫ってきました。

多くの方に様々な形で参加していただけるよう、「記念講演・修士論文発表」や「懇親会」、「展示物」の見学。また展示物を「出展」する。『第8回東北・北海道ブロック同窓会交流会 & 宮城野会創立 20周年 記念誌』に「掲載文を投稿」するなど、多様なメニューをご用意しております。

3月5日（土）・6日（日）は、宮城野会会員のほかに一般市民、在学生やサークル・自主ゼミなどの学生団体に加え、放送大学同窓会連合会や東北・北海道の同窓会から来られる方にも参加していただきます。同席される場合には、ぜひ交流されてみてはいかがでしょうか。

宮城学習センターがリニューアルして1年になります。以前とは違う位置になりますが、建物本来の重厚な玄関が迎えてくれます。この機会にぜひ来所してご覧になりませんか。

みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

### 『東北・北海道ブロック同窓会交流会』って？

『放送大学同窓会』は、1988年の群馬同窓会の設立から始まり、2017年岩手同窓会の設立を以て、すべての学習センターとサテライトスペースにできたこととなります。

全国を6ブロックに分け開催するのが『ブロック同窓会交流会』です。今年度宮城野会が担当するのは『第8回東北・北海道ブロック同窓会交流会』で、仙台で開催するのは2度目となります。東北・北海道の同窓会役員と同窓会連合会から担当役員、放送大学から副学長が参加される予定です。課題解決や活動の提案・報告など意見交換し、各同窓会活動の充実を図ることを目指しています。

# とびっくす



## 学位記伝達式で、宮城野会入会のお誘いとバッジ販売

9月26日（日）、宮城学習センター講義室(2)で1学期の学位記伝達式が行われました。出席された16人の卒業生に佐々木美枝子宮城野会会長が、お祝いの言葉を述べました。

学生控室で会計担当者が宮城野会入会を呼びかけながら、放送大学のシンボルマークとイメージキャラクター「まなびー」のバッジを販売しました。



1学期卒業された方から新しく2名の方を宮城野会会員としてお迎えしました。

## 入学者の集い終了後、学習相談と活動紹介

10月3日（日）、ホテル白萩の大会議室で入学者の集いが開催されました。宮城野会のPRと3月に行う『東北・北海道ブロック同窓会交流会 同時開催 宮城野会創立20周年記念行事』を入学生に伝えようと役員4人が参加しました。

『入学者の集い』会場で、宮城野会のお知らせができたこともあり、学習相談コーナーにさっそく立ち寄ってくれた方がいました。「8科目履修することにしたのですが、やれるのか心配で……」と話されました。「みんなも同じ気持ちで学習し続けていますよ」と伝えると「仕事も勉強も頑張ろうと思います」と少し安心した様子でした。足を止めて活動パネルを見てくれる新入生に、3月5日の記念講演と修士論文発表、展示会の説明し参加を勧めました。



学習相談コーナー



# 招待席

## 『音楽から外国語へ』

宮城学習センター客員教授

遠藤 宜成

小学校高学年のころから外国語の響きに魅了されるようになった。それは音楽やテレビの語学番組や演劇などを通してだった。そしてその外国語を学びたいと思った。中学生のころビートルズ等の音楽に夢中になってラジオにかじりつくようになった。日本の歌謡曲は自分に合わなかったようで、紅白歌合戦の時は一人でラジオの洋楽を聴いていた。中学の時、美人で発音のきれいな教育実習生の先生に英語を教えてもらったこともあって、はりきって英語を勉強した。高校になるころにはアメリカのフォークソングが日本ではやり始め、姉と妹がギターを弾けたので、私と弟が混じって PPM やブラザーズフォア等のフォークソングを家で歌っていた。テレビでサンレモ音楽祭を見られるようになり、カンツォーネというものを知ったが、その伸びやかさ、精神を解き放ってくれるような解放感に感激した。

そういうわけで大学の初習外国語としてドイツ語（将来研究で使う可能性大）とイタリア語を取ったが2つの言語を同時に習うのはさすがに無理だったのでイタリア語はあきらめた。兄弟でフォークソングを歌っていたこともあって、丸光の裏通りにあった歌声喫茶にも何度か通ってみた。佐藤宗幸が歌唱指導をしていた。そのころラジオで南米音楽も聴けるようになり、これに魅了された。後でスペイン語を学ぶきっかけになったと思う。ラテン語の名曲やレコードを紹介する事典も買った。大学時代の英語では LL の授業を取ったことがあり、英語を聞いたり話したりというのが性に合っていたようで毎回のテストも高得点だった。自分に自信が持てるきっかけになった。

大学院では農学部の海洋学教室に進んだ。この分野は外国の研究者とやりあって行かなければならないので、英語の論文を読み、書き、かつ話す能力も必要とされた。外国人研究者がよく訪れる研究室だった。そういう生活を通して全般的な英語能力が身についたと思う。そこでこれまで全く受けたことがなかった英検を受けてみることにした。2級、1級、TOEFL という順番で受験して TOEFL はカリフォルニア大学に留学できるレベルを取れたが、既に博士課程も終わりに近づいていたので留学するより日本で就職する道を選んだ。とは言うてもなかなか思うような研究職にはつけないで、公務員試験を何度か受けて水産庁の研究所に就職することができた。

◆「招待席」は、客員の先生に原稿をお寄せいただいています

就職が決まったことでどこか一人で外国に行きたいと考えた。単なる観光ではなく、少し緊張感も味わえる所として、大阪万博で民族舞踊を見たインドネシアに行くことにした。急ごしらえのインドネシア語学習を始め、最低限度必要な言い回しだけは言えるようにした。主な滞在先は近くに遺跡が多いジョグジャカルタだったが、裏町のこじんまりとしたホテルに滞在し従業員とも仲良くなった。移動手段はベチャで、ホテル近くにいた同じベチャ屋にいつも乗せてもらった。

就職した研究所で担当した仕事は南極海の海洋生態系の研究で、5年半の在任中に南極海には2度行った。5カ月間の長期航海だった。南極海でもナンキョクオキアミが一番多いのは南米の南の海域なのでこれほど長い航海になる。途中2週間に一度は寄港できる。南米ではチリとウルグアイに寄港することから2年ほど続けたラジオのスペイン語の勉強が役に立った。チリでの寄港地はバルパライソで、海と山が近接していて斜面に色とりどりの家が立ち並んでいる小さな町だった。久しぶりの陸地なので何時間も歩き回って景色を楽しんだ。レコード店などはないので私はバスで首都のサンチャゴに足をのびした。さすがに都会で、歴史のありそうな建物も多く、レコード店もあった。そこでビオレッタ・パラやビクトル・ハラのカセットを購入した。観光地になっているサンタルシアの丘にも登って見たが、パンチで高校生のカップルが何組も抱き合っている姿を見て、日本との違いを感じさせられた。

ウルグアイの寄港地は首都のモンテビデオだった。ラプラタ川の河口に位置しているので、海の色は茶色、それでも海水浴場は大勢の人で賑わっていた。ここでも数時間歩きっぱなしで異国の様子を楽しんだ。船員の一人に誘われて場末の飲み屋に行ったときに流れていたのがサンドラ・ミアノビッチの *Soy lo que soy*（私は私）で、パンチのある歌声に魅せられた。レコード店でカセットを買って持ち帰った。帰国後も雑誌ラティーナの直売店に行ったり、通販でCDを買い求めたり、YouTubeでときどきラテン音楽をチェックしている。

ここ数年、インドネシアのポップスにはまっている。インドネシアのポップスはそのメロディーが日本人（私だけか？）の感性にピッタリくるものがあるあってノスタルジアを感じてしまう。特に気に入ったのが *Amorisa* というグループが歌っている *Djogja*（ジョグジャカルタのこと）という曲で、あまり気に入ったので YouTube に感想を書き込んでしまったほどである。*Amorisa* から返事ももらった。その他には *Armada* や *Remember Entertainment* などのグループがお気に入りである。*Maudy Ayunda* や *Mawar de John* のような女優兼歌手の歌も素晴らしい。*HiVi!* というグループは都会的で洗練され、しかも人々の共感をひくよ

うな曲作りで人気がある。ヒットした歌には英語や時に日本語の翻訳もインターネットで入手できることが多く、歌詞の意味を知ることができる。

中国語を勉強し始めて4年ぐらいになる。研究室に中国からの留学生が来るようになってから勉強を始めたがあまり中国語を話す機会はなかった。私の中途半端な語学力では研究上必要な意見交換はできないからほとんど英語で話していた。高校で習った漢文とは全く別のもので、比較的単純な構造で様々な意味を表現できる言語のようだ。

中国語の歌で自分の感性にぴったりくるものはあまりないのではないかと考えていたが、そうでもないことを発見した。牛奶咖啡 (Milk Coffee) というデュオで、若者の不安や孤独を歌う「明天、你好 (こんにちは明日)」や「越長大越孤单 (大人になるにつれて孤独になる)」という曲がすばらしい。中国語も美しい。中国でもこのようなナイーブな曲がはやるのかと思った。現在はラジオのステップアップ中国語というプログラムを聞いている。私にはレベルが高すぎてなかなかついていけないが、続けていけば分かるようになるかもしれない。習近平の演説にも分かる単語が出てきた。

東北大学定年後も留学生に英語で海の生態学を教えてきたが、今年度が最後の年になる。今後も何かの形で語学力を維持し活かしたいと考えている。

## < 自 己 紹 介 >

放送大学宮城学習センター 客員教授 えんどう よしなり 遠藤 宜成

宮城県石巻市出身。専門は「生物海洋学」という海の生態学を研究する分野です。動物プランクトンを専門に研究してきました。趣味は、音楽以外ではテニス (週2回プレーしています) と読書 (専門以外では文学も読んでいます) です。



## 放送大学での学びと生涯学習の喜び

寺島 学

私は、他大学から編入して、放送大学教養学部「社会と産業コース」を10年前に卒業しました。社会と産業コースは、社会科学を体系的に学ぶことができました。法学、政治学、経済学、社会学、経営学、商学などの社会科学の学問を、その分野の第一人者の教授陣から教わることができました。

放送大学の教授陣は研究業績の優れた先生ばかりで、一流大学と認識されている他大学と遜色ない講師が、テレビやラジオで講義をしてくれる稀有な大学です。私は国際関係論を他大学で学び、放送大学では主に政治学を中心に履修しました。その後、大学院で修士選科生として学びました。

私は現在、英語の学び直しをして、英検やTOEICの勉強をしています。週に1回、イギリス人講師から、マンツーマンで指導してもらい、英検1級合格を目指しています。語学は毎日コツコツ勉強しないと、なかなか上達しません。放送大学では、第二第三外国語を勉強している学生も沢山いらっしゃると思います。因みにドイツ語やフランス語は、英語より文法が複雑で難しいと言われています。英語の文法を皆さんは高校で学んだと推測しますが、学問に王道はありません。

私は典型的な文系人間で大学入試も国語・英語・社会で受験しました。放送大学では数学も学べますが、私は履修しませんでした。理系の専攻もあり、自然と環境コースもあります。理系の学問は自分にとって難しく、なかなか手強い分野であります。

現在、放送大学で人気があるのは、心理学だと思われます。因みに、私の母は他大学の通信教育で心理学と教育学を専攻して卒業しました。父は2年前に他界しましたが、東北大学文学部で日本思想史を専攻して、卒業しました。

放送大学では、司法試験や公認会計士に合格した方もおられると聞きました。私も英検1級を目指して頑張る所存です。

それでは、宮城野会会員の皆さまにおかれましては、多方面でご活躍しておられると思います。放送大学での学びは、一生の財産だと確信しているこの頃です。

## コロナ禍で見た夢

高橋 勇子

『方丈記』と『徒然草』を受講して「こんな解釈があったのか。このように読んでいくのか」と島内裕子教授の講義に魅せられて、幾度も読み返したいテキストとなった。

コロナ禍でステイホームを余儀なくされている昨今、現代と同じように激動の時代を生きた『方丈記』の作者である鴨長明氏にタイムスリップしてインタビューを試みた。

—— 初めまして、長明さん。あなたが実体験された「世の不思議」の天災・人災を「五大災厄」と総称して『方丈記』を執筆されました。『方丈記』は、現代に至るまで数多くの学者や研究家に読み解かれ、今もって学校教育の定番として多くの人々に学ばれております。

さて、長明さんの時代と現代との相違点はどのようなものとお考えですか？

鴨 長明 そうですなあ。一番の違いは文明の発達ですな。とりわけ物理・科学と科学技術の発達は、こちらから見ればまるで魔法の国に迷い込んだみたいで、指先一つで物事が意のままに叶ってしまう。これは便利を通り越して驚きでしかないですな。しかし、こういう事が人間にとって本当に幸せなのですか？ 我々の時代は、炊事の火起こしから生活全般、移動手段に至るまで、事を成すには自分の身体を使わなければならなかった。五感を研ぎ澄まし、危険を察知できなければ生きていけなかった。庶民の暮らしも貧しく、贅沢に暮らせるのは貴族や権力者、金持ちだけ。いや、これは現代も同じですな。時代が変わり文明が発達しようと、人の心は旧態依然、源氏物語に描かれているような心理が現代人にもほぼ当てはまりそうですな。科学技術だけが独り歩きしているようで危ういものです。

—— 地震予知は未だに出来ず、大雨・干ばつ、台風などの予報はできても阻止はできない。地球の資源を長年大量に使ってきたため温暖化が進み、地球が悲鳴を上げているのにやっと気づいた人類が危機管理に躍起となっているが、国情の違いから足並みが揃わずにいる。牛のゲップまでが温暖化の原因とはねえ。のどかな風景なのに、これじゃ～牛も立つ瀬がないですね。

鴨 長明 情報量も私の時代とは雲泥の差ですな。社会経済の進歩による変化とひと括りにするには余りにも急激な変わりようで、これでは変化の波に乗り損ねた人たちにとっては、脅威のなにものでもないですな。即断即決を要求される時代には、人としての自由さえも脅かされているようにも見える。知る権利は無論大事だが、おおらかさが失われつつあるのではないですか。酸欠状態の金魚のように見えるのだがね。「歴史は繰り返す」。あるべき世の姿を、先人達が営々となぎ築き上げてきた歴史に問うてみるのも肝要ではないですか。いつの世にもいかなる時にも、人の命と幸せは守られて然るべきでしょう。

それでは、これにて さらば！



「研究ノート」より 『カルルス煎餅』

内海 和子 (2021年3月 卒業)

詩人・尾形亀之助は宮城県の仙南大河原町に生まれたが、この地を描いた作品はあまりない。貴重な短編の要約と尾形亀之助について紹介したい。

『カルルス煎餅』の舞台—— 明治時代の大河原村古地図を見ると、大河原村尾形橋西側袂を南に曲がり、三軒目に大河原警察署がある。署建物表側は国道に、裏側出入口は白石川に面している。大雨で川の水があがり裏口まで水がくる低い土地である。橋桁には流れてきた草木が引っかかっていたのが子どもにも見えた。それから察すると橋を曲がった下り坂道は当時極端に急勾配であったと思われる。整地された現在でも運転時には車が傾くほどの勾配である。坂道を下り右に入った小さな空き地が子どもたちの格好の遊び場になっていた。

遊びの情景—— 八歳位の男の子と同じ年の男の子が遊んでいる。ひとは竹の棒を持っている。そこへ六歳位の女の子がやってきた。女の子は今度来た警察署長の娘さんである。三人があれこれと遊んでいるうちに男の子の棒が相手の男の子に当たってしまった。当てられた男の子は女の子の前できまりの悪い思いをしたし、間違っただけだとしてしまった男の子は当たっただけだと双方譲らない。にらみ合う一瞬の緊張を捉える。立ちすくむ女の子は家から煎餅をつかんできて二人に一枚ずつ、自分には二枚を分けて治めた。子どもたちの心の中に交錯する友だちとの間の微妙なかけ引きや負けたくない、仲間はずれになりたくないという強い感情や心理を描写した。亀之助自身の記憶の泉から汲みあげた作品であろう。

尾形亀之助—— 亀之助は裕福であるが愛情の薄い環境で養育され虚弱で無口な青年に成長。短歌・詩を中心に文芸作品を同人誌や雑誌に掲載。随筆・短編小説・戯曲・書評・映画評論など多くの作品を発表した。

詩人としては三冊の詩集を出版した。第一詩集『色ガラスの街』・第二詩集『雨になる朝』の後、最後の詩集となった第三詩集『障子のある家』は、草野心平が亀之助を詩人として確立させるべく覚悟を持ち取り組ませた渾身の作品集である。

静かであるが冷徹な目・わがままで怒ると始末に負えない亀之助の心の内外、家庭をも請け負い、詩の道へと導いた草野心平の労苦は絶えなかった。

亀之助研究者として一生を終えた編集者秋元潔は草野心平と『尾形亀之助全集』を編んだ。出版に際し秋元は「詩史の忘却の間に消えたあまたの優れた詩人のいる中で、尾形亀之助は幸せです、浮かばれます。」と記している。

# 放送大学 宮城学習センターから お知らせ

## 【 2022 (令和 4) 年度 4 月入学生募集中! 】

■教養学部 ■大学院/修士選科生・修士科目生 出願受付は以下のとおりです。

第1回募集: 2022年2月28日(月)まで

第2回募集: 2022年3月1日(火)~3月15日(火)

募集要項は放送大学ホームページよりご請求ください。



資料請求 QR コード

### 大学案内・入学相談会

日時: 2022年1月22日(土)、2月12日(土)

①10:00~ ②11:00~ ③14:00~ ④15:00~

事前予約制。ご希望の時間①~④をお知らせください。

会場・申込先: 宮城学習センター TEL022-224-0651



入学相談会申込 QR コード

## 【 公開講演会のご案内 】

日時: 2022年2月5日(土) 10:30~11:20 (受付10:00~)

講師: 玉川 勝美 先生 (放送大学宮城学習センター客員教授)

演題: 「異臭騒動あれこれ」

定員: 30名

会場・申込先: 宮城学習センター  
TEL022-224-0651

三浦半島から横浜市にかけて、「ガス臭い」という苦情が1年以上も前から寄せられています。しかし、その原因については今もなお明らかではありません。異臭の原因はいったい何なのか・・・?

実は、仙台にもかつてこのような異臭騒動があり、私自身、原因究明で悩まされた時期がありました。この講演では当時のことを振り返りながら、この異臭の原因について探ってみたいと思います。

同日  
開催!

午後は、放送大学教授 谷口義明先生のオンライン講演会「宮沢賢治は宇宙に何をみていたか?」も開催いたします。詳細は放送大学ウェブサイトでご案内いたします。こちらもぜひご参加ください。

## 【 宮城学習センター学生による研究集録の配布 】

「宮城学習センター学生による研究集録」は、宮城学習センター所属の現学生・元学生が執筆した論文を集録したものです。

これまで、創刊号、2号、3・4号合併号を刊行し、宮城学習センターで配布しております。郵送配布もしておりますので、ご希望の方は、以下①②を学習センターまでお送りください。

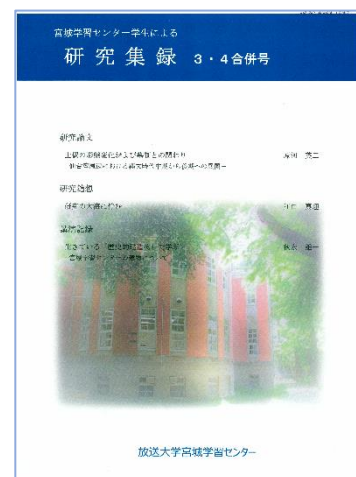
①任意様式にお名前・ご連絡先・ご希望の号を明記

②返信用封筒(角2封筒、宛名明記、送料分の切手貼付)

<送料> 創刊号1冊場合、3・4号合併号1冊の場合 180円

2号1冊の場合 215円

2~3冊の場合(全号希望される方など) 310円



最新号(3・4合併号)

## 同窓会 宮城野会から お知らせ

一緒に活動しませんか  
**役員 募集!**

パソコンのインターネット  
環境が整っている方

\* 役員または学習センタ  
ー経由でご連絡ください。  
2月27日(日) 締切り

### ◎ 放送大学のバッジ 販売しています

購入希望の方は、学習センター経由宮城野会まで  
ご連絡ください。

- ・まなびー
  - ・シンボルマーク
- 各 500円



### 『東北・北海道ブロック同窓会交流会 & 宮城野会創立 20 周年記念行事』

#### 《 締切り日をご確認ください 》

1. 展示物出展を希望する方を**再募集** 1月30日 必着
2. 記念講演・修士論文発表に参加 1月30日 必着
3. 懇親会参加希望(参加費当日集金) 1月30日 必着
4. 東北・北海道ブロック同窓会交流会  
& 宮城野会創立 20 周年 記念誌掲載文 1月28日 必着

#### 《 当日の運営のお手伝いできる方 募集 》

1. 会場案内 5日(12:00~13:00)
2. 展示室 5日(11:00~13:00、13:00~15:00、15:00~16:00)
3. 展示室 6日(10:00~12:00)

\* 宮城野会役員または、学習センター経由で1/28迄お知らせください。

ご冥福をお祈りいたします

松尾 健輔さん

◎ 宮城野会通常総会  
4月23日(土) 予定  
往復はがきでお知らせします

### ◎ 会費未納の方へ 払込取扱票を同封しております 同封の払込取扱票で送金お願い致します。

\*2022年1月17日(月)から窓口やATMでの払込みサ  
ービスを現金で支払う場合は、1件につき110円が加算さ  
れます。払込料金152円と加算料金110円で262円とな  
ります。なお、口座支払いは加算なしで152円のままで

1月28日(金)まで 送金お願いします

## 第 8 回東北・北海道ブロック同窓会交流会 & 宮城野会創立 20 周年 記念誌

あなたの原稿、お待ちしております！

- ◆ テーマは、下記の二つからお選びください。

テーマ 1.

私と宮城野会

テーマ 2.

私と放送大学

- ◆ 字数は、1200字以内

テーマ、お名前、電話番号をお書きください。

宮城学習センター宛てにメールでお寄せいただくこともできます。

- ◆ 原稿 送付先

放送大学 宮城学習センター経由 宮城野会 宛

〒980 - 8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1 (東北大学片平キャンパス内)

TEL (022) 224 - 0651、 FAX (022) 224 - 0585、 E-mail:miyagi-sc@ouj.ac.jp

- ◆ 原稿 締切 1月28日(金) 必着

( \* 単位認定試験期間 1/14~1/21 )